



愛と創造

山形市立第十中学校
学校だより
2022. 6. 7

～地域とともにある学校～

〔令和4年度学校運営協議会にて〕

第1回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を開催しました。これは、全ての学校に設置するよう法律によって定められている制度で、地域と一体となって子どもを育成する「地域とともにある学校」へ転換していくことを目的としています。

第1回の会議では、校長先生の学校運営方針（裏面参照）について委員の方から承認を得ております。コロナ禍ということもあり、少人数での開催となりましたが、今後感染状況をみながら委員を増やしていく予定です。

【令和4年度学校運営協議会委員】

| | | |
|----|--------|---------------|
| 会長 | 櫻井忠志 様 | 南沼原地区町内会連合会会長 |
| 委員 | 井上敬弘 様 | 元十中PTA会長 |
| 委員 | 宇野正彦 様 | 十中教育振興会会長 |
| 委員 | 櫻井卓巳 様 | 十中PTA会長 |
| 委員 | 山田 博志 | 十中校長 |



学校運営協議会の役割

- 1 校長先生が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 2 学校運営について、教育委員会または校長先生に対して意見を述べるができること
- 3 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、山形県教育委員会に意見を述べるができること。

〔ボランティア活動より〕

有志の20名近い十中生が、6月5日の吉原西公園の清掃ボランティアに参加させていただきました。早朝からの作業でしたが、地域の方とともに草集めやゴミ拾いをし、爽やかな時間を過ごすことができました。作業後にJRC委員長の田中遥さんが「貴重な体験をさせていただきました」とお礼を述べると、地域の方々から拍手をいただきました。作業中に言葉を交わした方の中には十中の卒業生や、かつての保護者だった方等がおられ、今も変わらず十中に関心を寄せてくださっていることが伝わってきました。



地域に愛されている十中であることを誇りに思いました。

令和4年度 山形市立第十中学校の方針

今年度、^{つるおかし りつくしひきちゆうがっこう}鶴岡市立櫛引中 学校より参りました校長の
^{やまだ ひろし}山田博志です。

赴任して2ヶ月が経とうとしていますが、毎朝生徒たちの**爽やかなあいさつ**からはじまり、「**もくもく清掃**」と名付けられた一日の感謝を込めて校舎を磨き上げる清掃活動に感動する日々を送っています。



山形十中はこれまでどおり、**生徒を中心に学校運営**を進めていきます。**学校は、勉強するところ**です。学力を含め生きる力を育みます。本校の目標は、学校と家庭そして地域で目指していく目標であるとも考えています。学校だけでは達成できません。保護者の皆様と一緒に子どもたちのために力を尽くしていきたいと思っています。

PTA 総会に際し、学校の教育目標である

「変化する時代を生きぬく優しさと逞しさを持つ生徒の育成」
をもとに2つお話をさせていただきます。

<1点目>

「変化する時代を生きぬく**優しさ**」とは、ずばり「**貢献**」です。周りのために、学んだことを生かす→役に立つ喜び、「ありがとう」は学ぶ意欲へつながります。

周りに何かを望むのではなく、自分が周り（みんなのために）に何ができるかを考え実行する。そんな**優しさであふれた子ども**を育てたいと考えています。

<2点目>

「変化する時代を生きぬく**逞しさ**」とは、ずばり「**自立**」です。逞しさは苦勞（壁）を乗り越えた先に身につくものです。その土台となるのが、「自立」です。1日のスケジュールを**自分で立て**、実行する力です。

この実行を継続することで粘り強さ、忍耐の強さが育まれ、信念が強くなります。そんな**逞しさがみなぎっている子ども**を育てたいと考えています。

上記は、私の私見です。

保護者の皆様にもそれぞれの「優しさと逞しさ」の想いがあると思います。生徒たちにも自分の「優しさと逞しさ」を考えて実行してほしいと伝えています。**山形十中がたくさんの「優しさと逞しさ」であふれることを楽しみに**今年1年、全校生徒660人、教職員57名、合計717名みんなで元気に頑張ります。よろしくお願ひします。

